

フィリピン台風ボーファ 被災者医療支援の報告会

特定非営利活動法人 災害人道医療支援会 主催の報告会のお知らせ



フィリピン南部ミンダナオ島を襲った台風ボーファは被災者620万人、死者行方不明者1,800名以上を出し、避難住民は80万人近く上っている模様です。現在被災地にはおよそ113カ所の避難所があり、避難住民のうち80%以上が避難所の外での生活を余儀なくされています。WHOの調査では避難住民は高血圧、開放創、打撲、発熱、皮膚疾患等が報告されており、200以上ある医療機関のうち半数以上が十分に機能していない状況で医薬品や妊婦のための衛生材料等が不足しているとのことであります。

ジャパンプラットフォーム(JPF)のご支援により、HuMAは初動調査隊を12月22日から28日まで現地コムポステラ・バレー州周辺に派遣し、今後の医療支援活動のニーズ調査、また現地での医療活動の状況等を調査し、次期本隊医療支援活動の必要性のチェックを重点的に行いました。

その結果2013年1月1日から31日まで医療チームを派遣し、フィリピンミンダナオ島Compostela Valley州北部ならびにDavao Oriental州で巡回診療を行いました。

日時：2013年3月23日(土)14時から16時(延長あり最大17時まで)

場所：済生会千里病院 東館3階講堂

〒565-0862 大阪府吹田市津雲台1丁目1番6号

TEL:06-6871-0121 /FAX:06-6871-0130

費用：無料

お申込みお問い合わせ：

お申し込み無しでお越しいただいても結構ですが、準備の都合で、事前にお申し込みをいただければ幸いです。

氏名、メールアドレス、携帯電話、フィリピン報告会(出席・欠席)、懇親会(有料出席・欠席)をご記入のうえ、下記担当者までご連絡ください。

特非)災害人道医療支援会 関西報告会担当 高田
takaday@dri.ne.jp 078-262-5075 (直通)

